

# 100分 de 名著スペシャル 「100分 de 手塚治虫」

11月12日（土） Eテレ 午後11：00～深夜0：40

漫画家・手塚治虫（1928-1989）が最初の作品を世に送り出して今年で 70 年。手塚治虫をこよなく愛する論客が一堂に会し、手塚作品を徹底的に読み解く。

女装パフォーマーとして活躍するブルボンヌさんは、セクシャルマイノリティ当事者の立場から、「リボンの騎士」を「LGBT 問題」や「性の本質」にいち早く迫った作品として読み解く。



「愛のむきだし」「冷たい熱帯魚」等の映画で若者から熱狂的な支持を受ける映画監督、園子温さんは、表現者の立場から、誰にもまねのできない「鉄腕アトム」の描線の魅力に肉薄していく。

精神科医の斎藤環さんは、「奇子（あやこ）」「きりひと讃歌」といった大人向けの手塚作品を通して、誰もが魅了される圧倒的なストーリーテリングがなぜ生まれたのかを心理学的に分析する。

相愛大学教授の釈徹宗さんは、手塚の一大巨編「火の鳥」を人間の宗教性の根源を描いた作品として、宗教学の立場から徹底解剖する。

手塚治虫を現代によみがえらせる、Eテレならではの知的エンターテインメント番組。

司会：伊集院光 磯野佑子アナウンサー（「100分 de 名著」MC）

## 手塚治虫 自身が語ったルーツと音楽

11月3日（木・祝） FM 午後9:00～10:45、11:00～深夜0:00

今多くの人に愛される手塚治虫さんの生前の肉声をNHKのアーカイブスから紹介。「マンガ」「音楽」「SF」の3つのテーマに沿って、その人物像と魅力に迫る。また、バイオリニスト・千住真理子さんが「火の鳥 2772 愛のコスモゾーン」の主題曲を36年ぶりに演奏する。

**MC** 濱田高志（アンソロジスト）、菊池亜希子（モデル・女優）

**ゲスト** コムアイ（「水曜日のカンパネラ」ボーカル）、手塚るみ子（プランニング・プロデューサー）、

難波弘之（作曲家・SF作家）、二階堂黎人（小説家）、樋口康雄（作曲家）、細野晴臣（ミュージシャン）

**ライブゲスト** 千住真理子（バイオリニスト）、山洞 智（ピアニスト）